

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

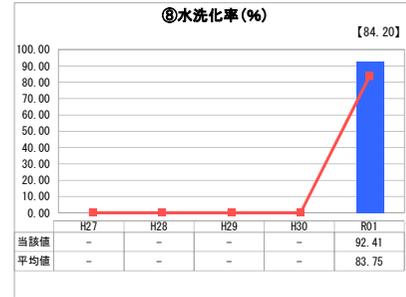
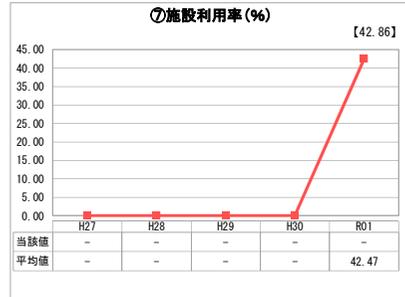
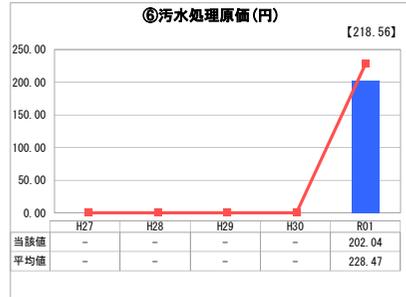
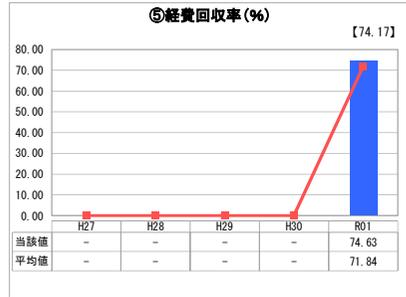
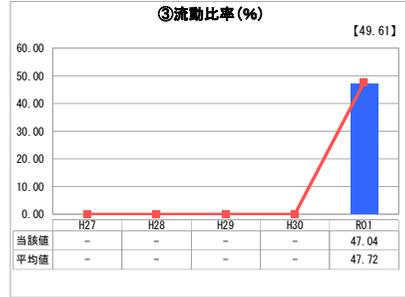
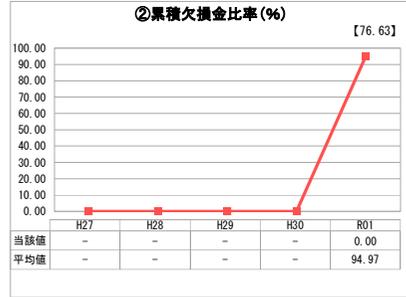
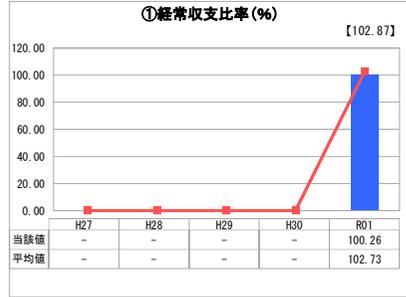
福岡県 久山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	66.64	0.87	100.00	2,940

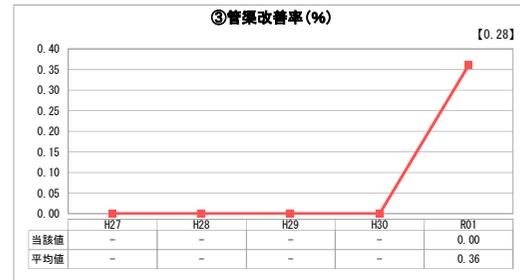
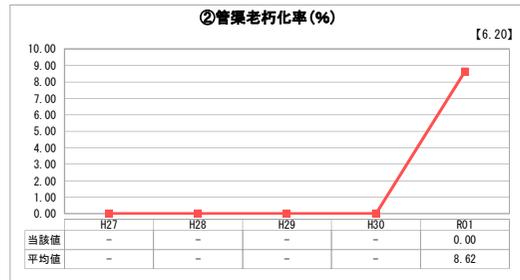
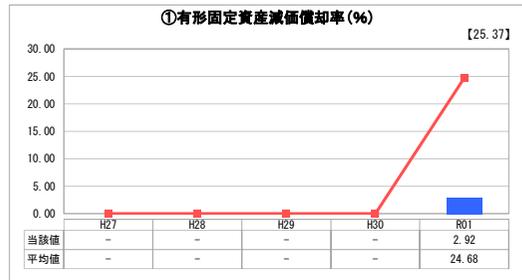
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,068	37.44	242.20
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
79	0.06	1,316.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率は、100%を超え、単年度収支は黒字であるが、疑似団体平均率を下回っている。次年度以降、経常費用を抑える等、疑似団体平均率を上回ることができるよう努めていく
- ②流動比率は疑似団体平均率を下回っているため、使用料収入増加につながる対策を講じる等疑似団体平均率を上回ることができるよう努めていく
- ③流動比率は疑似団体平均率を下回っているため、使用料収入増加につながる対策を講じる等疑似団体平均率を上回ることができるよう努めていく
- ④企業債残高対事業規模比率は、疑似団体平均値を大きく上回っている。当事業においては新規借入を行っていないため、減少傾向に転じることは予想されるが、使用料収入増加につながる対策を講じる等疑似団体平均率を下回ることができるよう努めていく
- ⑤経費回収率は疑似団体を上回っており、今後は100%に近づけるよう努めていく
- ⑥汚水処理原価は疑似団体と比較しても低い状態であるため、更なる減少に努めていく
- ⑧水洗化率については疑似団体よりも高い数値であるため、今後も増加していくよう努めていく

### 2. 老朽化の状況について

- ①疑似団体に比べて、法定耐用年数に近い資産は少ないため、値は小さいが、将来的には上昇していくことが予想されるため、更新・投資計画の策定等を進めていく

## 全体総括

収支の均衡を図っていくことが直近の課題である。収入に関しては事業規模から大幅な増加は望めないため、支出面に関する対策を実施できるよう努めていく

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。